

文化高知

2007年 5月 NO.137



「with」 秋山 香純

〈もくじ〉

転勤族から見た土佐・高知	吉田憲司	2
サザンカ	高橋昌明	3
市民ミュージカル『音の旅人』新しいゴールを目指して	大家賢三	4～5
第十七回高知出版学術賞を審査して	中内光昭	6～7
高知の女性の生活史「ひとくちに話せる人生じゃあない」はこうしてできた ～本が束ねた過去・現在そして未来～	西山壽万子	8～9
地の名も無き偉人たち③日本簿記学の先駆者 山田十畝	公文 豪	10
スペインの素顔2～レオンの章～	門田 彩	11
言葉の現場から③	井津葉子	12
三～四月の事業のご報告		13
風俗歳時記・風伯		14～15

転勤族

から見た土佐・高知

吉田 憲司

高知に赴任して早や二年が経とうとしております。赴任時の期待を遥かに上回る魅力一杯の高知に、見事にハマっています。「よさこい祭り」の強烈なリズムと躍動感のある踊り、美味しい地酒を飲みながらの「返杯」「べく杯」の楽しさ、素晴らしい手付かずの大自然と食材、そして何より、明るく飾らない自由闊達な風土・人柄が大好きです。

今や全国区となった『よさこい祭り』。

私は昨年、弊社が立地する商店街の伝統ある「京町・新京橋 ちびす・しばてん連」よりお誘いいただき参加しました。それにしても炎天下での踊りはハードで、あんな暑い思いをしたのは、新人時代の自転車外交以来でした。

高知は「外食飲酒代」がダントツ日本一であること、日本酒をよく飲むことは弊社内でもよく知られています。まず転勤族が一樣に驚くのが、宴会（おきやく）の多さです。次なる驚きは、開宴まもなく自然に席を移っています。

くことです。「返杯」の始まりです。その方と会話している間、同じおちょこに注ぎ、お互いに飲み続けるという……素晴らしい慣習だと思います。目上の方に向かって先におちょこを差し出すのが土佐流だということも教わりました。我々転勤族にとっては、一気に距離を縮めるチャンスであります。「返杯」の慣習がない他県と比べて数倍のスピードで仲良くなれる、と実感しております。

ノリがよくお酒の好きな女性の比率が非常に高いと感じています。一回で出せて後片付けも簡単な大皿料理、いわゆる皿鉢料理のルーツは、女性も一緒に飲みたいからだという説がある、とお聞きしました。女性を交えた席での『べく杯』はとても印象深く、よさこい祭り同様、高知発の全国区になる可能性を秘めていると思います。実際に、高知を訪れた弊社社員が『べく杯セット』を買い込み、地元で流行らせている、という報告を受けています。

本厄の年に赴任したことをきっかけに、赴任一年目はクルマで『四国八十八ヶ所』を巡り、「順打ち」で結願いたしました。「休日は何してるの?」

との質問への回答は、東京の家族の元へ帰っているか、ゴルフ、もしくはドライブです。出歩くのが好きで、単身宅に丸一日いたことは記憶にありません。ここで独断と偏見による「高知県内また行きたい所ランキング」を書いてみたいと思います（私企業とその施設は省くよう配慮しました）。

⑩桂浜（龍馬像の目線に上ったらリンクアップするかもしれません）

⑨四万十川（いわゆる「原風景」、仁淀川もいいですね）

⑧竜河洞（特に「冒険コース」、案内係の方が親切でお値打ちです）

⑦四国カルスト（家内が好きな風景です）

⑥室戸岬・東洋町間の海岸線（どこまでも続く海……）

⑤吉野川（ラフティング、ハマリます）

④沖の島（離島ファンにおすす、時間を忘れませう）

③足摺岬（自宅パソコンのデスクトップ画面にしています）

②竜串・大堂海岸間の海岸線（四国一の海岸美、さすが国立公園です）

①柏島（何といってもきれいな海！）

砂浜の近くで色とりどりのお魚を見られる所が、国内（除く離島）で他にありませんでしょうか? 気軽に体験ダイビングもできます）

大企業・製造業・外需との今回の好景気局面に乗り遅れた感のある高知県経済ですが、皆様ご存知のように全国シェアトップの元気な企業は数多くあります。また今後、団塊世代の方々の移住・定住人口の増加も期待できます。真つ青な空と海を見ながら一年中ゴルフができる温暖な気候や、カツオやトマトなどの新鮮な食材は、移住先として大変魅力的だと思います。今後益々成長していくであろうアジアの国々に向けて高知の食材をPRしたら面白いのでは、と思います。

医療機関についても、人口当たりの病院数や社会福祉施設数・看護師数が全国有数です。これから日本が本格的に迎える高齢化の先端県にある支店として、何かを全国に発信できればと考えています。

弊社高知支店は来年で五十周年。『明るい高知 高い知恵』をモットーに、「それ、野村に聞いてみよう!」とお客さまに選ばれ続けるための研鑽を積み、プレゼンスの更なる向上に努めてまいります。

（よしだけんじ／野村證券株式会社）
（社高知支店長）

サザンカ

高橋 昌明

還暦を過ぎると、想い出は故郷と子ども時代に帰ってゆく。

「功名が辻」で、NHKの大河ドラマをはじめ一回も欠かさず見た。今年ももう見えていない。日本史の研究を職業にしていると、あそこは間違い、これも駄目とっているうち、とてもせわしない気分になってくるから。

大河ドラマの脚本家には同情する。分らないことだからだからである。そもそも山内一豊夫人の名前からして、千代ではない。

晩年の彼女にかなする数少ない確かな事実は、一六〇五年（慶長一〇）九月、一豊が六一歳で亡くなると尼になり、見性院の法号をうけた、翌年反対をおして上洛、伏見さらに京都に移った、上方賄料として、藩から知行千石を付けられたなどである。夫が亡くなって京都に引き上げたのは、土佐を嫌っていたからではあ

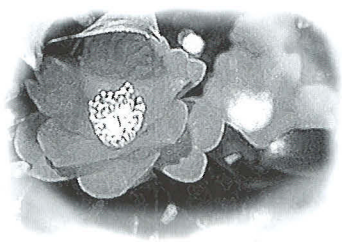
頼んで差し上げますと申し上げましたから、詳しいお返事をくださいという内容である。

当時茶人たちは、花色が淡紅色の椿を「うす色」といった。サザンカはつばき科の常緑亜高木で、元来四国・九州の山地に自生し、花の少ない晩秋から冬にかけて開花する。園芸用には桃・紅・紅と白のほかしなどがあるが、自生種しかなかったころ、淡紅色のサザンカは珍しかったのだろう。

見性院の手紙は卯月一四日付け。旧暦だから、現在の五月ごろである。追而書に「もはやいまはつきももうす（着き申す）まじく」、時期を逃したので移植や挿し木、いずれにせよ今は根づかない、いただくなら「あき（秋）がよく」といつている。北政所は庭園や生け垣に植栽するためのものを求めていた。

生け垣のサザンカとくれば、私たちの世代には童謡「たきび」である（異聖歌作詞・渡辺茂作曲）。

かきねの かきねの まがりかど
たきびだ たきびだ おちばたき
あたろうか あたろうよ
きたかぜ びいぶう ふいている
さざんか さざんか咲いた道



子どものころ、戦後の貧しかった高知の街角で、出会った朝の風景。あの時分南国でも冬は寒かった。焚き火もしもやけも垣根のサザンカさえも、今は見かけない。

（たかはしまさあき／神戸大学）
（大学院人文学研究科教授）

Musical Oto no Tabibito

音の旅人

大家賢三

新しいゴールを目指して



一年後の大舞台を目指して、熱のこもった練習が始まった

「音楽は楽しいもんじゃないかい？ 私

ミュージカルナンバードも二十曲ちかくあり、武政さんが収集し作品化したわらべ歌なども取り入れられています。

重要になってきますが、文字面だけではなかなかニュアンスが伝わらないため、脚本を土佐弁で録音する予定もあります。

◆武政英策のメッセージとは

は子どもの頃、それをおっちゃんに教わったんだよ」

◆武政さんの遺志を継いで

最後にになりましたが武政夫人の春子さんが、四月二日に八十九歳でお亡くなりになりました。

■ミュージカル劇団結成式

日時 六月三日(日)午後を予定
会場 高知市文化プラザ3階 ガレリア
内容 劇団員によるテーマ曲披露、スタッフ紹介、演出挨拶等(予定)

（たいけけんぞう／(財)文化振興事業団企画事業課



緊張と熱気に包まれたオーディションの様子

◆オーディションの緊張と熱気と

充実した笑顔を見せる参加者の表情が印象的でした。

◆練習開始

緊張のオーディションから一週間あまり。三月十五日には、オーディション合格の喜びがさめやらぬ内に、第一回の劇団練習を行いました。

◆待望の脚本が完成!

さて、今回のミュージカルのテーマは、「よさこい祭り」とその生みの親で戦後高知で音楽家として生きた「武政英策」を描いていきます。



審査員の前で課題を演じる参加者

高知出版学術賞を審査して

中内光昭

大学人文学部教授、荻慎一郎氏は高知大学人文学部教授（文学博士）である。
八木文雄著
『神経心理学 認知・行為の神経機構とその障害』
放送大学教育振興会刊（四一三ページ）

十七回を迎えた高知出版学術賞の応募点数は二十一点で、昨年の十四点、一昨年の十二点に比べて、格段の増加が見られた。審査は、例年通り、八名の審査員によって行われた。研究分野は、人間科学関係九、社会科学関係三、自然科学関係九で、例年に比べ、歴史関係が少なく、医学関係が多かった。

第一回の審査で八点を選び、委員が分担して精読し、コメントを提出。それを中心に論議を重ねた結果、満場一致で次の三点を受賞作に決めた。受付の順序に従って紹介する。

秋澤繁・荻慎一郎 編著
『土佐と南海道（街道の日本史47）』
吉川弘文館刊（二四六ページ）

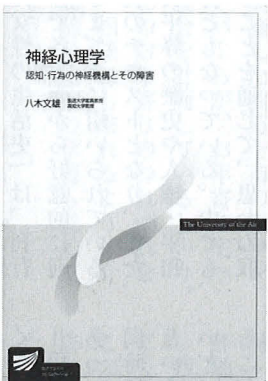
本シリーズは、従来の中央集権的視点での「地方史」とは異なり、

内容は、講義の流れに沿って、脳における機能の局在（分担）の証明に始まり、「大脳皮質連合野の神経機構や随意運動制御の中核機構についての理解を深め」させると共に、「高次機能の形成・獲得・変容等に触れ、さらに、発達過程でのつまづきの支援について、最新の神経科学が、どこまで貢献できるか」を記述している。

夥しい文献を精査し、多数の図を加えた、質、量共に重みのある著作である。さらに、本書では、個々の機能について、その働きを単に教示するのではなく、具体的な事例や実験結果から、それら結論を導くという教育的な手法で記述されている。極めて学術的、啓蒙的著作であり、日進月歩のこの分野ではあるが、現時点での研究成果の集大成として、



「土佐と南海道（街道の日本史47）」



「神経心理学 認知・行為の神経機構とその障害」



「どこまでわかったアユの本 変化する川と鮎、天然アユはどこにいる？」

「街道」による、人、物、文化の交流が、我が国の形成の基底にある、との考え方から、街道をキーワードに歴史を考察しようという意欲的なものである。

本書は、この趣旨に基づいて、十一年の高知南海史学会員の研究成果が二人の編者によって纏められたものである。

土佐は古来、政治の中心地からはへき遠の地であるだけでなく、「街道」のどん詰まりで、街道の「通過点」に位置する諸国に比べて、街道による文物の往来からの影響は比較的少なく、本シリーズの視点での記述には、困難も伴うこともあったと推測される。

しかし、土佐には陸路に加えて、「海の道」があり、これにより、遠く離れた諸国からも影響を受けてきたと考えられる。本書では、これ

長く将来にわたって利用される図書である、との評価を受けた。

残念なのは「索引」がないことであるが、原因は、本体が教科書としてはあまりにも膨大なものになったため、物理的に不可能であったように、いずれ、「付録」としてでも補っていたできれば利用者は助かると思う。

なお、著者は高知大学医学部教授（文学博士）で、放送大学客員教授を兼ねている。

高橋勇夫・東健作 著
『どこまでわかったアユの本 変化する川と鮎、天然アユはどこにいる？』
築地書館刊（二六五ページ）

アユは釣ったり食べたりするだけ

らの道を介しての文物や文化の流れが、土佐の風土にどのような影響を与えたか、新しい視点で検証されている。

本書は三部構成で、「土佐と南海道をめぐって」、「高知の歴史」、「土佐文化の伝統」よりなるが、このうち、「高知の歴史」中の「近世土佐における諸地域社会の形成」について、一審査委員は「テーマに対する執筆者の問題意識が行き届いて、『道』と地域住民の自立・自律性への問い質しが貫通している」と高く評価している。

従来あまり注目されなかった浦分（海岸集落）の記述や、物や文化の交流に果たした上方商人の役割など、新しい知見も随所に見られ、土佐の歴史研究の到達点をコンパクトに纏めた学術書として評価された。なお、編著者の秋澤繁氏は元高知

でなく、生態に関する興味や、川の環境の問題など、話題性に富んだ魚と言える。それだけに、アユに関しては、多くのことが知られてはいる。しかし、読者は本書で、多くのアユの中には、それらの「常識」にとらわれないアユもいるということを知り、自然の奥深さを改めて感じるに違いない。

「フィールドからのアユ学」というキャッチコピーが本書の内容を適確に示している。二十年以上にわたる、年間一〇〇日も川に潜り、自然界のアユを見つめてきた二人の著者の「アユ学への招待」である。

高橋氏は現在「たかはし河川生物調査事務所」の代表であるが、長年、西日本科学技術研究所員として、全国河川でアユの研究を行ってきた農学博士、東氏は「西日本科学技術

人間は外界からの刺激を受け、脳（心）で判断、考察し（場合によっては、反射的に）、その刺激に反応する。刺激から反応まで、脳のどの部位がどのように関わっているかについては、従来、いわばブラックボックスの中であった。

最近の医学機器の驚異的な進歩、特に、メスをを用いずに内部の形状を見ることを可能にしたCTやMRI等が、脳の疾患の研究、さらには、正常な脳機能の研究を飛躍的に進歩させた。

これにより、人間科学の「心」と自然科学の「脳」を結びつける「神経心理学」に関する知見が夥しく集積されるようになった。それら最新の知見を基に、放送大学受講生という「初心者」を念頭に、神経心理学のエッセンスを濃密に纏めたのが本書である。

研究所四万十研究室「長（農学博士）である。

「アユの四季」、「変化する川とアユ」、「アユの放流再考」、「漁協が元気な川にアユがいる」、「天然アユを増やすには？」の五章に、「アユの基礎知識」、「用語解説」、「参考文献・索引」が加わり、図も多い。

著者らは、本書で、実地での観察や体験に基づいて、アユの実像を示し、自然界でのアユの減少を憂い、その原因を考察し、天然アユを増やすための方途にも言及している。

「縄ばりをつくらないうで回遊するアユ」の話や川の荒廃と遡上アユの増減が必ずしも関連しない実例など、素人には新鮮な話題に満ちている。何よりも読み易く、分かりやすい文章が好評で、説得力のある内容との評価を受けた。アユという「木」とそれを取り巻く自然と

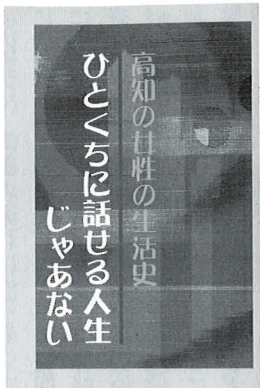
という「森」を双方向から眺める視線も高く評価された。
（なかうちみつあき）
高知大学元学長

高知の女性の生活史 「ひとくちに話せる人生じゃあない」 はこうしてできた

～本が束ねた過去・現在そして未来～

〈最終回〉

西山 壽 万 子



「高知の女性の生活史 ひとくちに話せる人生じゃあない」

◇耳で聴く女性史

「高知の女性の生活史」は、刊行後、おかげで各方面から好意的に迎えられる、さまざまに用いられている。大学の講義のテキストとなり、また、市民の男女平等の歴史や人権・平和学習の教材ともなっている。中でも、朗読されることを通じて、思わぬ収穫がもたらされた。

口火を切ったのは、出版が成ったばかりの二〇〇六年一月、こうち男女共同参画センター「ソレレ」で行われた「ソレレまつり二〇〇六」での朗読であった。図書の音訳を通して障害者福祉に貢献している朗読サークル「あめんぼ朗読会」によって本の中の何編かが朗読されたのだった。なかなか感動的で、涙をふいていた観客もあったという。もともと、語り手の口述を活字にしたのが本書である。朗読は、素材を元の姿にもどして、より自然な形で伝わったのだろうか。

そのときの朗読を聴いた「ミモザの会」（高知の女性の生活史作成実行委員会）のメンバーの何人かが、「これは音声化して広く届ける価値のあるテキストだ」と確信するに至った。本書の語り手たちと

同時代を生きた高齢者に是非本書を読んでほしいのに、その多くが加齢によって目が弱り活字に親しみにくくなっていったため本の形ではすんなり届けにくいという課題が当初からあったのだが、この方法をとれば、同時にこれも解決できることになる。ということで、翌年度の「ソレレえいど」事業に応募して朗読版をつくることを決意したとのことだった。

「ソレレえいど」とは、男女共同参画に資する県民の企画を「ソレレ」が支援し、男女共同参画の社会づくりに推進する事業である。本書は女性の生活史を通して男尊女卑の時代や人権を踏みこむ戦争の庶民生活への影響を具体的に証言しており、そのCD化はこの事業の趣旨に合致すると思われた。さて誰がその事務に当たるかだが、三年間にわたる本書の編集期間中ずっと陣頭指揮をとってきた「ソレレ」館長古谷滋子氏とその時ちようど職業生活を終え自由に動ける身となっていたのはグッドタイムングだった。「ミモザの会」会長今井清子氏は体調を崩していたので、副会長の松本瑛子氏をかたからって「ミモザ」メンバーに「ソレレえいど」応募についての同意を取り付け、CD作成事業に漕ぎだしたのだった。

やがて「ソレレえいど」から適用決定通知をもらい、事業に取りかかったのが初夏。それからここに書くには煩雑に過ぎる長い過程を行きつ戻りつして、本に収録された九十編の生活史の中から朗読に適した二十編を選びだし、CDという形にするのができたのはなんと翌年一月末の「ソレレまつり」当日ぎりぎりという、長い道のりだった。四〇〇枚作った大半を県下の高齢者施設に寄贈し、残りは販売して普及を図った。

◇コミュニケーションの媒体として

ある高齢者施設では、本書をコミュニケーションの媒体としてうまく活用していると聞いた。認知症のお年寄りに、「回想法」という、昔を回想するセラピーが有効だとは聞いていた。本書などまると昔のこと



とある高齢者施設での本書を利用したセラピー。

から成っているのです、これを読み聞かせれば効を奏するのではと素人なりに思っていたのだが、認知症処遇に経験を積んだ施設長の発案でそれを実行している施設があった。この施設では、高齢者若し介護職員とが本書を中において対話するのだという。

お年寄りに本書の読み聞かせを始める時、「自分の時はね」と得意そうに自身の昔語りを聞き手から始めるといふ。その昔語りに若い職員は「なるほど」と耳を傾け「それで」と先を促すのだそう。そのコミュニケーションのために、この施設では各階に本書を備えてあるという。うれしい話ではないか。「世代間を埋めるコミュニケーションに苦慮していたが、この本はヒットです」とのお誉めをいただいた。

また、こんな例もある。本書の聞き取りを実施した四万十市のボランティアメンバーが、お年寄り宅への訪問朗読会を計画しているという。一人暮らしのお年寄りのつれづれをなぐさめ、相談にも乗れるよう、介護保険等高齢者施策の学習も進めているのだそう。

各地で女性史は出版されているが、類書の多くは、採話されたまま資料室で眠っていることが多い。本書の

◇読み継がれていく

本書作成委員の一人でもあり索引作成の煩をいとわなかった、高知大学文学部の上野智子教授は、「のちの学生にも是非読ませたい」と、未来の学生のために研究室に本書をストックしているという。生活史素材・地域素材としてのユニークさを評価されたのだろうか。

残念な話もある。聞き取りをさせてくれたあの方、寄稿をしてくれたこの方、と今指を折ってみるに、本書に笑顔の写真を残したまま他界した方々が、たちまち両手に余る。早い方は編集期間中に亡くなった。よくもまあ、亡くなる寸前に貴重な体験談を聞かせてもらえたことである。

◇ミモザOBの会

とはいっても、本が世に出た時点で「ミモザ」は使命を終え、グループは消滅したのだから「同意」もないのだが、三年の長きにわたってグループとして活動してきたのであってみれば、メンバーの気持ちの中ではすぐに消滅とはならないのであった。前の会と区別するために、今の会を「ミモザOBの会」とでも呼ばいいたいのだろうか。前「ミモザの会」は「ソレレ」に召集され、「ソレレ」の肝いりで運営されていたのだが、今度の会は自主的なグループである。「ソレレ」の周りには幾多の女性グループがあるが、改めてその一つとして誕生し直し、そういうグループの一つとして「ソレレえいど」に応募したのであった。

ちよつと遅かったら永遠に失われていたであろう庶民の生活史や大切な地域の歴史を、沈む寸前にすくい上げることができた幸運に手を合わせたい。この事業を英断し、無事ゴールまで漕ぎ抜いた当時の「ソレレ」関係者と、この企画に諸手をあげて賛成し、協力を惜しまなかった坂本正夫高知県歴史民族資料館館長(当時)に感謝する。

この本に関わった私たちがすべてが、いずれはいなくなる。しかし「記憶は一代、記録は末代」だから、本が一冊でも世にある限り、細々とでも未来の読者に読み継がれていくだろうと信じている。いやいや、その前になすべき仕事はまだまだありそうだ。「ミモザOBの会」は、今回の取り組みを契機に、男女がもっと幸せに生きることのできる男女共同参画社会実現に向けて、次の活動を準備しているところである。この会がお役御免になって解散する日は遠そう。

激動の昭和の時代、普通の女性たちが通ったいくつもの道、こぼ道、日照りの道、ぬかるみ道のことを本書はこの先も語りやめないだろう。道中のほかに明るい景色とともに、

（にしやますまこ／高知市プロック担当）



本書編集のさなか、今井会長が喜寿を迎えた。お祝いに駆けつけた「ミモザ」会員たち。

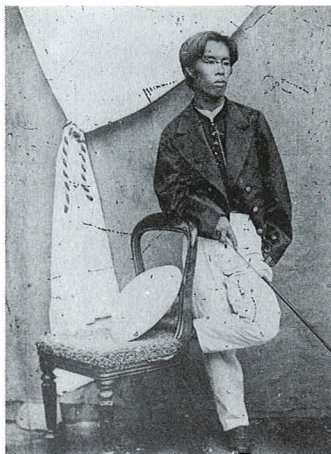
日本簿記学の先駆者

公文 豪

山田十畝

山田（戸田）十畝（じゅうさ）といっても、まず知る人はいないだろう。『新版高知県人名事典』に収録できなかったのは、編纂当時、自由民権部門を担当した私たちが全然知らなかったからである。十畝は、平成十七年に広島弁護士増田修氏が発表した論文『広島立志舎の創立とその活動』によって、初めて世に紹介された。これほどの人物が、わずか百年余りの歳月の中で完全に忘れ去られていたことに驚かざるを得なかった。

山田十畝の経歴は、大久保利夫著『衆議院議員候補者列伝 一名帝国名士叢伝』（明治二十三年刊）に詳



山田 十畝

しい。それによれば、十畝は嘉永四（一八五二）年二月十八日、高知帯屋町十二番地に生まれた。父は土佐藩士・山田八蔵、知行五百八十石の馬廻であった。兄喜久馬は、のちに名を山田（土居）平左衛門と改め、二代目の立志社長となり、明治三一（一八九八）年第五回総選挙で代議士に当選、土陽新聞社長をつとめた人物として著名である。

山田平左衛門が戊辰戦争で戦功を立てた武勇者として知られているように、六歳年下の十畝も、少年の頃には武を好み、文を忌む気性が旺盛だったという。十三歳の時から土佐藩所有の汽船に乗り込んで航海術を学び、のち海軍士官に抜擢された。さらに砲術修業のため江戸へ遊学。江川太郎左衛門の塾へ入り、傍ら大島圭介に就いて英学を修めた。その後、慶応義塾へ入塾。帰郷して砲術の導役となり、また兵書の教授となった。幾ばくならずして藩命により蒸気

機関学修業のため長崎へ遊学。明治二年土佐藩の歩兵小隊長となり、次いで中隊長、歩兵生兵教授に転じ、火工取締役を兼ねた。四年御親兵上京の際に砲隊長と衝突して官を辞す。この時期、十畝は終始武事に従事する傍ら文学を修めて怠らず、ことに数学を熱心に研究してその奥義をきわめた。退官後は義塾を開いて和漢英学等を教授していたが、征韓論敗北後、塾を閉じて意を政治運動に用いるようになった。九年土佐第八大区副区長となり、学務取締を兼務。翌十年病気のため職を辞し、高知第七国立銀行役員となった。銀行創立にあたっては、簿記学・経済学等に詳しくあった十畝が幹旋尽力し大いに功績があったという。

明治十一年大阪へ上り、野根出身の岡軌光らと各地で演説会・談話会を開いて自由民権を鼓吹、近畿地方の政治思想発達に貢献した。翌十二年、広島立志舎を興した日置貫の招きで広島へ移住。演説と文筆に腕をふるった。十三年三月七日に主幹として『広島新聞』へ入社。以後、同紙は広島立志舎が行う自由民権運動の機関紙の様相を呈するようになる。戸田慶山（旧備後三原の城代家老。千百石）は、十畝の政談演説に感銘を受け、妻子共々養子に迎えた。十

四、五年頃のこと、これより戸田姓を用いる。十五年三月林包明一行が広島県下を遊説したとき、これに呼応して芸陽自由党を組織する一方、代言活動にも従事して法廷に立った。二十年三大事件建白運動が起こると、『明治建白沿革史』を出版。建白制度の変遷を緻密に記述した名著である。二十三年第一回総選挙では広島第七選挙区から立候補し、落選した。当時、山のような負債を抱え、貧困のため食することもできない状態だったが、磊落不羈な十畝は全く意に介さなかったという。明治三十年八月十六日、四十六歳で病没。残念ながら、墓の所在は今なお不明である。

増田氏の調査では、簿記・法律・政治に関する山田十畝の著作は四十冊に及ぶ。とりわけ明治十二年出版の『銀行簿記用法』や『人民必携簿記提要 単式之部』、十三年出版の『人民必携簿記提要 複式之部』は、わが国簿記学の先駆的著作である。多くは国立国会図書館が所蔵し、最近、高知市立自由民権記念館も収集を始めた。山田十畝こそ、近代日本簿記学史に足跡を残した人物として、再評価がもたらされる土佐の偉人のひとりといえよう。

（くもんこう）／土佐史談会理事

ヨーロッパの多くの町がそうであるように、スペインの町もまたどんなに小さな町でもたいてい旧市街と新市街に分けられる。スペインの場合、この「旧」の部分が本場に古い。一般的に中世のものが多く、新しいところでも十六世紀に作られている。これが、十八、十九世紀に都市造りがなされたフランスのパリなどは根本的に異なった表情を見せるゆえんである。

町はカテドラル（大聖堂）を中心に作られ、その周辺に要塞として城壁を築き、これで町全体を取り囲む。それが中世の町造りであった。そして、この城壁内が現在「旧市街地」としてわれわれの前に残されているのである。

マドリッドからやや西よりに北上すること三、四時間のところにあるレオンもそんな町のひとつだ。この旧市街には十世紀の城壁がところどころに残され、その中心にはスペイン随一のステンドグラスを誇るゴシック様式のカテドラルがある。ステンドグラスはゴシック建築に欠かせない要素で、とりわけパリのノートルダム大聖堂やサント・シャペルなどが有名であるがスペインの話は聞いたことがない。そのためあまり期待を抱かず訪れた。が、小さな通りを抜けて突然開けた広場ですっきりと立つカテドラルはまずその姿からして堂々たるものであった。繊細

な尖塔がたくさん付いた教会堂（カテドラル）はどっしりと重量感があつて非常に美しい。その様式はまぎれもないゴシック建築なのだが、褐色というのがスペインらしい。そして、内部へ入るとさらに驚かされる。外側からは想像もつかないほどに光に溢れた空間、壁面全体にほどこされた色彩豊かなステンドグラス……その美しさに圧倒され思わず息をのんだ。ステンド

スペインの素顔②

レオンの章

門田 彩

グラスは内部に光を取り込むには有効だが、強度が低いいため、壁面に多く使用するには建築上相当の技術を要する。ステンドグラスが盛んなわけではなかったスペインで、これほど大きく色鮮やかなステンドグラスが見られるとは予想だにできなかった。そしてまた、この色彩豊かな配色がともスペインっぽく感じられ、なんともいえない陽気な気分になった。

レオンがすごいのはこのカテドラル

だけではない。ゴシック時代の一つ手前、ロマネスク時代の教会、サン・イシドロ教会のパンテオン（王家の霊廟）には「ロマネスク美術のシステイーナ礼拝堂」といわれる天井フレスコ画があるのだ。パンテオンの天井全面、そして柱にまで描かれた聖人や動物は多色で実に生き生きとし、小さい空間ながらもロマネスクの傑作の名にふさわしいものだった。



これだけではない。ロマネスク、ゴシックときたら、その次はルネサンスである。レオンにはこのルネサンス様式の建築もいくつか残されている。中心部から少し歩いたところにあるサン・マルコス修道院、現在ではパレードール（国営ホテル）として使用されている建築だが、この修道院は横長の正

面全体に施された彫刻が圧巻だった。残念ながら宿泊しなかったので内装は分からないが、宿泊しなくとも入れるレストランだけでも十分雰囲気を楽しむ。そして驚くことに旧市街の中にはガウディ作の建物もある。カサ・デ・ロス・ボディネスといつて現在銀行として使われている大きな建物だが、遊び心のある尖塔が付いたかわいらしいお城のようで、十分にガウディ建築を堪能できた。

レオンでは、ロマネスク、ゴシック、ルネサンス、そして現代、あらゆる時代の建築物が「旧市街」に共存している。小さな町だから、歩いていると次から次へと様々な時代の建物に遭遇する。しかし不思議と、お互いが存在を主張し合ったりぶつかり合ったりすることなく、あたかもお互いを尊重しあうかのような調和を見せ、町全体にある一体感をもたらしていた。そしてそれがどういうわけか、私にはとてもお洒落で洗練された空間に感じられた。あらゆる時代の息遣いが途絶えることなく共存し、そして融合していく空間、これがエスプリの効いた心地よい空間を作るのだということを私はここで体感することとなった。

（かどたさい）／東北大学大学院博士課程後期

言葉

の現場から③

井津葉子

「言葉の現場」それも「話し言葉の現場」で働くアナウンサーとして日頃感じている事を書かせてもらってきましたが、今回は「声」や「音声表現」について取り上げます。

「話し方講座」の折などに尋ねると、声が「高い」「低い」「大きい」「小さい」「早口」「しゃべりが遅い」「声が悪い」「しゃべり方が暗い」など、自分の「声」や「話し方」にコンプレックスを持っている方が多い事が分かります。でも、それについて何か対策を講じているか、聞いてみるとほとんどの人が「何もしていません。」という返事。声やしゃべりかたは生まれ持ったものだからと最初から諦めてしまっているのです。

「声」を道具に仕事をしている私達も、最初から「アナウンサーらしい声」をしていたわけではありません。アナウンサーを目指す人はまず自分の「声」に向き合わなくてはなりません。そうして自分の声を磨くのに最初に行うのは「腹筋運動」

と「腹式呼吸」。まず鼻から息をたっぷり吸って置いて、出来るだけ長く口から吐く。これが出るようになって初めて、吐く息に声を乗せませ

と、トレーニングの一つを紹介しようと、「アー」という音をお腹から大きく、できるだけ長く出し続けます。最初十五秒ぐらいだった人も毎日トレーニングするうちにだんだん声の長くなるようになります。また長さだけでなく、大きな声が安定して出てくるようになります。放送の仕事ではマイクを使うため、普段は大きな声を出す必要はありませんが、こうして発声のトレーニングをする事で普通に話す時の声に「張り」や「広がり」が出て来ます。

声が出るようになったら次は「発音」。自分自身の「アイウエオ」をチェックするところから始めます。この「母音」の発音は日本語の基礎となるのですが、日本人でも生まれないながらに「アイウエオ」が正しく

発音できている人は、実は少ないのです。全体にあまり口を大きく開かない人。「ウ」の時の口のすぼめ方が足りない人。「ウとオ」の縦開きが得意な人。「イとエ」の横開きが強い人。

こういった癖を直すためには「口の体操」です。「アイウエオアオ」や「早口言葉」のような言いにくい言い回しを「早口」でなく、くちびるを大きく動かしてはつきりと言う練習を繰り返します。「母音」の発音が正しくなったら次は「子音」。地道なトレーニングですが、体の体操をして気分爽快になると同じように声の体操もストレス解消につながって楽しいものです。私はこれに「ハマッタ」が為にアナウンサーの道に進んだような気すらします。と言っても仕事など必要に迫られないと、突然家の中で大声でもって「アイウエオアオ」とは行かないでしょう。でも声やしゃべり方は意識すれば変えられるという事は知って頂きたいのです。

たとえば人と話をしていて「エッ、何て言いました？」と聴き返されることの多い人は、もう少しボリュームを上げ、お腹から声を出しましょう。唇をあまり動かさないで「モゴモゴ」話す癖のある人は、一度どん

な風に口が動いているか鏡でチェックしてみてください。腹話術師のように動いていなかったらもう少し動かすようにしましょう。早口になりがちな人は、相手が相槌が打てるような間を取ってください。自分が話し易いペースよりも相手が聞き易いペースを意識すると思います。口が遅い人は、考えをまとめてから話し始めるようにしましょう。

人前でまとまった話をしないといけないときは、手前に一度声を出して言ってみる事もお勧めです。しゃべる文章を準備しておいても、目を通しただけではリズムが頭に入りにくいですが、声に出しておくことで、リズムを頭にインプットする事ができますし、内容も記憶に残ります。新聞なども、時折声に出して読む習慣をつけるといいですよ。

私たちは「外国人じゃないのだから別に今さら必要ない」と日本語を上手に話す努力を怠りがちですが、母国語に自信を持てる事は自分に自信が持てることにもつながります。いつからでも何歳からでも遅くはありません。言葉を磨く事で生き方も変わることを信じて、チャレンジしてみてください。

（いづようこ／株高知放送ラジ
オセンター）

高知市文化プラザ かるぽーと 3月～4月の事業のご報告

第23回写真コンテスト・高知を撮る入選作品展

3月13日から18日にかけて、「第23回写真コンテスト・高知を撮る 入選作品展」を開催しました。このコンテストは、過去から現在に至るまでの高知の風景や出来事、人々の暮らしを写真で記録し、高知の様々な表情を伝えるとともに、未来の高知のあるべき姿を考えていこうというものです。高知に関する記録性のある写真を扱った「記録写真部門」と、撮影者のお気に入りの高知の風景や風俗を撮影した「I LOVE 高知部門」の2部門に、今年度は111人の応募者から合わせて323点の応募がありました。

会場にはそれぞれの部門の特選2点、準特選10点を含む入選作品62点が展示され、熱心に作品に見入る鑑賞者の姿が多く見られました。



アーティストバンクプログラムvol.7 ライブパレット

3月16日、当事業団の運営する「アーティストバンク」に登録された県内アーティストによる公演、「ライブパレット」を開催しました。

今回は三組のアーティストが出演。ヴァイオリン、チェロ、ピアノから成るアンサンブルTuttiは「タイスの瞑想曲」などを演奏。ピアノの福田明子さんは「シャトコンヌ ト長調」など、

迫力あるピアノソロを披露しました。ピアノとソプラノのB-NOTEは楽しいおしゃべりを交えながら「みかんの花咲く丘」など馴染みのある曲を演奏し、来場者はバラエティに富んだ多彩な楽曲を楽しみました。

横山隆一記念まんが館 5周年

横山隆一記念まんが館は、2002年4月7日に開館して今年で5周年を迎えました。

これを記念して、常設展示「横山隆一展示室」を一部展示替え。「隆一ギャラリー」「漫画集団の歩みと同人たち」「珍コレクション」などおなじみのコーナーを中心に約200点の作品を入れ替えました。また、入場無料の「まんがライブラリー」には、まんが関係研究書など、500冊を超える図書を追加しました。

4月7日には「開館5周年記念無料デー」として常設展示を無料開放し、134人の来場がありました。これを機に初めて訪れたという人も多く、遊び心あふれる展示に興味深く見ていました。同日夜は春の恒例「花見の宴」をかるぽーと1階「欧風料理モンテ」で開催。横山隆一長男・隆雄さんをはじめとする横山家の方々や、高知在住のまんが家ら、高知のまんが関係者72人が集い、交流を深めました。





高知 遺産

こうして壊れて行くのだ

その昔、はりまや橋から西を眺めると高知城が見えたという。その昔、この道を東へ走ると、五台山の立派な山容がよく見えたという。

今、高知には次々と立派な建物が建てられているが、北山や高知城、五台山、筆山といった高知の景観を大きなところで決定づける要素が「遮られる」と、その風景はとたんにどこかの街と同じような、無味乾燥としたものになる。

風伯

団塊の花嫁修業

でも話題を提供する世代であるようだ。ただ、ちょっと気になることがある。たとえばカルチャー教室などの教養を高めるような会への集まりには、ほとんど女性しか出席していないように思う。男たちはどこへ行ってしまったのか。仕事をしている平日の集まりには出られないのは仕方がないが、

デジタル一眼レフが飛ぶように売れていて、買っていくのは、多くがいわゆる団塊世代を中心とした高齢男性だと、新聞に出ていた。団塊世代が消費のターゲットとして注目されてきているようだ。仕事至上で働き続けてきたこの世代が、定年後の人生をどう過ごすか消費傾向が決まってくるほど、幾つになっ

仕事が終わってどこへ行くのか、日曜、祝日にはどこに出没しているのか。飲み屋やゴルフというのは、男性のカルチャー一度は益々低くなってしまふ。高度経済成長期ごろから、男の知能はだんだん減退しているのではないかと思う。むしろそんな焦りがあるのは自分自身で、それを世の男性諸氏に当てはめようというのは少々無理があるが、それでも、この団塊世代の動向は、男性復権の千載一遇の機会になるのではないかとと思う。

団塊男性の花嫁修業ではないが、料理、茶道、書道など、女性ばかりが目立つこの文化をなんとか取り戻し、独りになっても生きていけるだけの能力と、古来日本人が培ってきた素晴らしい日本の文化を味わえる余裕が男性にもほしい。そうすれば、人生はもっともっと楽しくなるのではないかと、思っているのだが……。

(冬開改野遊)

第152回 市民映画会

リトル・ミス・サンシャイン

(PG-12)

本年度アカデミー賞®助演男優賞・オリジナル脚本賞受賞

幸せの黄色いバスに乗った
愛すべき落ちこぼれ家族の
奇妙でハートフルなロード・ムービー。



© 2006 TWENTIETH CENTURY FOX

オーロラ

パリ・オペラ座全面協力

踊る、ただ一度の恋のため。
それは、踊りを禁じられた国の王女の
切なくも美しい恋の物語。



と き：6月21日(木)・22日(金)
ところ：高知市文化プラザかるぼーと大ホール

上映時間(両日とも)	
リトル・ミス・サンシャイン	①12:50 ②16:25 ③19:55
オーロラ	①14:40 ②18:15

料 金：一般前売り1,300円(当日1,500円)
割引(前売り・当日とも)1,000円
※学生証、長寿手帳、障害者手帳などをお持ちの方は割引料金
※前売り券は、かるぼーとほか市内各プレイガイドおよび指定のサニーマートで販売。
※お問い合わせ：(財)高知市文化振興事業団企画事業課(088-883-5071)

今号の表紙

「with」 秋山香純
私の想いはこの「with」にこめられている。私がそうであるように観てくださる方にも自由に感じてほしいので、あえてこの作品にはかいせつはいらさないのではないかと……。想うままに創る作品……それは、絵も歌も似ている。こう感じてほしいとかじゃなくて、観て聴いてくださった方の心にふわっと風が吹いたら……と思っている。もしかしたら作品を通じて“わたし”の存在と“わたし”を知って欲しいのかもしれない。(あきやまかすみ/MONOTYPE)



高知を撮る

第23回写真コンテスト入賞作品

五月晴

(平成18年 土佐市高岡
テイクオフ)

北村 健三

こどもの日前後、コイを引くライダー
—がいます

①陸ぬ 狂者や男(陸の愚か者は男) 男は誘惑に負けやすく、女にだまされやすい。また、夫がフリムンになると、経済や子育てにも影響するため、夫や息子に対する戒め、教えとしても用いられる。

②産し道えー 知っち 育てい道えー 知らん (産む道は知って、育て道は知らない) 安易な考えで子供を産んで、き

「黄金言葉」

風俗歳時記



③生まりジマぬ 言葉 忘ねー、国 忘ゆん (生まれジマの言葉を忘れたら、国を忘れる) ふるさとの言葉を忘れたら、沖繩人の心を捨てたも同然。

④片手さーねー 音ー 出じらん (片手では音は出ない) 何か物事をなしとげる場合には、協力者が必要である。

ちんと育てることのできない親への皮肉として用いられる。



本物の音楽を家族みんなで！
親子が一緒に楽しめる
人気の演奏会を今年も開催！

🎵 午前の部 10:30開場 11:00開演 12:15終演(予定)



- * 楽器紹介
- * 指揮者にチャレンジ
- * はらべこあおし (ひきがたり)
- * DANZEN!
ふたりはプリキュア
など、演奏予定!

こうち
高知フライデー・ウィンド・アンサンブル
毎週金曜日の夜(←なので名前がフライデー!), 筆山文化会館に学生・社会人・主婦というんな音楽好きな仲間が集まって吹奏楽を楽しんでいます。年齢も下は10代から上は還暦を迎えた人まで様々。主な演奏活動は年一回の定期演奏会をはじめ、施設や地域のイベントなどの演奏を行っています。音楽も仲間もあつたかい。それは今も昔も変わらずに、とてもアット・ホームなバンドです!!

🎵 午後の部 14:30開場 15:00開演 16:15終演(予定)



- * 日本童謡メドレー
- * 指揮者にチャレンジ
- * アンパンマン～
ドラえもん
- * となりのトトロより
など、演奏予定!

かがみのすいそうがくだん
鏡野吹奏楽団
昭和52年、土佐山田町において結成。定期演奏会・吹奏楽コンクール・クリスマスコンサート・訪問慰問演奏会等、年会10数回の演奏活動を行う。平成元年全日本吹奏楽コンクール全国大会金賞受賞、平成5年オーストラリア・シドニー国際音楽祭グランプリ受賞、同年土佐山田町町民賞、平成6年高知県文化賞を受賞、平成16年福岡県国民文化祭出演等。

入場料[全席自由]

3歳未満	無料
子ども券(3才以上小学生以下)	500円
一般券(中学生以上)	800円
親子券(子ども券+一般券)	1,200円

主催:(財)高知市文化振興事業団/高知市教育委員会
後援:高知新聞社/RKC高知放送/NHK高知放送局
KUTVテレビ高知/KSSさんさんテレビ
協力:鏡野吹奏楽団/高知フライデー・ウィンド・アンサンブル

前売り券販売所

高知市文化プラザミュージアムショップ	088-883-5052
高知大丸プレイガイド	088-825-4335
高知大丸プレイガイド	088-825-2191
高知県民文化ホール	088-824-5321
高知県立美術館ミュージアムショップ	088-866-8118

※お問い合わせ:(財)高知市文化振興事業団
088-883-5071
<http://www.bunkaplaza.or.jp/>

5/12(土)
販売開始!!

大変ご好評をいただいている公演のため、前売り券が売り切れの場合、当日券の販売はございません。できるだけ前売り券をお買い求めください。